

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ふれあいきっず北谷			
○保護者評価実施期間	R7年 1月 10日 ~ R7年 3月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数)	29
○従業者評価実施期間	R7年 1月 10日 ~ R7年 3月 24日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 5月 20日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員間の連携と情報共有が適切に行われている	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われている。 職員会議や情報共有の場が設けられており、業務改善のためのPDCAサイクルが進められている。	デジタルツール（例：チーム管理アプリ）を活用し、情報共有をリアルタイムで行える環境を整備する。
2	保護者との連携が積極的に行われている	保護者向け評価表を活用し、保護者の意向を業務改善に反映している。 保護者との意思疎通や情報伝達の配慮がなされている。	定期的な通信やSNSを活用し、活動概要や行事予定をより詳細に発信する。
3	支援プログラムの適切な作成と実施	支援プログラムは概ね適切だが、ガイドラインの項目が不明との意見がある。	ガイドラインの内容を職員や保護者に分かりやすく説明し、理解を深める機会を設ける。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設環境の改善が必要	ワンフロアのため、空間的な切り替えが難しい。 個別の部屋がないため、パーテーションや職員室で代用している。	空間の構造化を進めるため、移動可能な仕切りや専用スペースを設けるなどの工夫を検討する。
2	安全管理の周知が不十分	職員への安全計画の周知は進んでいるが、家族への周知がまだ十分ではない。	年間スケジュールに安全管理研修や訓練を組み込み、家族への説明会を定期的に開催する。
3	家族支援プログラムの実施が不十分	家族支援プログラムやきょうだい向けイベントの実施が少ない。 保護者同士の交流機会が不足している	ペアレンツ・トレーニングやきょうだい向けイベントの開催を検討し、家族支援を強化する。